

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 191 3月定例会

令和2年5月15日発行

特集

市議会

シルバー
人材センター

- 4 こんなことが決まりました
- 6 令和2年度予算審査の内容
- 9 そこが聞きたい!!!一般質問
- 14 視察の成果を市政に生かします
- 15 高校生との意見交換会を開催しました
- 16 あの質問どうなったの?





特集

働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する「シルバー人材センター」で、元気に活躍中の皆さんにお話を伺いました。

令和2年3月27日実施

シルバー人材センターに入ったきっかけは？

- 働けるうちは働きたいと思ったからです。
- 「四六時中、定年になって家に居られても困る。」と言われたことが理由です。
- 趣味を続けるのにお金が必要で、体が動くので入会しました。
- ヘルパーの資格を取りたくて入りました。

どんな仕事を担当していますか？

- 草刈り、植木の剪定作業です。
- 買い物にお困りの方の代行サービスと安否確認です。
- 放課後児童クラブの指導員です。
- 新居関所、紀伊国屋資料館の受付です。
- 福祉施設へのお手伝い、デイサービス、高齢者の家事援助などです。
- 幼稚園や会社の清掃です。



嬉しかったことは？

- 「ありがとうね。」と言われることがとても嬉しいです。
- 派遣社員でも温かく受け入れてもらえ、仲間と認められたようで嬉しかったです。
- 子どもが慕って寄ってきてくれることです。
- 職員からの励みの言葉がもらえることです。



よかったことや大変だなと思ったことは？

- 派遣の仕事は、カレンダー通りの半日のため、空いた時間に自分の好きなこともできるのでラッキーでした。
- 子どもと接していると楽しいです。入ってきた子どもの名前を覚えることが大変です。
- 家事援助の仕事はお年寄りが楽しみに待っていてくれ、喜んでもらえることです。
- 剪定作業では害虫や蜂に刺されること、暑くなると仕事は大変です。
- シルバー人材センターの会員と仕事を増やすことが課題です。



市や議会に望むことは？

- 高齢化が進む中で、シルバー人材センターが仕事を通じて地域に関わりながら自分の趣味と時間を活かして健康づくりに取り組んでもらえるようになればいいと思います。
- 「買い物代行サービス」をもっとみんなに知ってもらいたいので、協力していただきたいです。お年寄りの方も1回でもいいので試しに利用してください。
- 空き家を利用した居場所づくりをシルバー人材センターでやっていきたいと考えていて、市に協力してもらえたらなと思います。
- 市長が子育て支援の充実を目指すのなら、放課後児童クラブ施設整備に力を入れ、充実を図ってほしいです。
- 草や枝などの処分の受け入れを、休日の隔週でも実施してもらえると、その時に市民が作業でき、草木が放置されずに済むのでお願いします。



会員の皆さんとお話させていただき、仕事を通じた生きがいづくりに胸が熱くなりました。高齢化が進む中、みんなで支え合っていく地域づくりの拠点となるのはシルバー人材センターではないかと感じました。ありがとうございました。

3月定例会はこんなことが決まりました

3月 定例会 会期 2月19日～3月23日 34日間	<input checked="" type="checkbox"/> 条例の制定・廃止	2件
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例の一部改正	10件
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3件
	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算	6件
	<input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度予算	7件
	<input checked="" type="checkbox"/> 人事案件	3件
	合計 31件	

今号では
この中から2つの議案を
紹介します!!

議案第1・29~30号

人事案件

副市長・固定資産評価員

3月31日をもって退任する田中伸弘氏の後任として、山家裕史氏(静岡市駿河区)を選任することに同意した。

固定資産評価審査委員会委員

任期満了となる佐原弘恭氏(鷺津)を引き続き選任することに同意した。

議案第9号

湖西市立幼稚園一時預かりに関する条例の一部を改正

現在、新居幼稚園の空き教室で実施している緊急一時預かり事業を、こども園化により空き教室がなくなることから、令和2年4年1日から内山保育園で実施する。これに伴い、今後、幼稚園においては緊急一時預かり事業を実施することがないことから改正するものであった。全員賛成により可決。

本会議での質疑

問 新居幼稚園の緊急一時預かりを廃止することによる影響は。

答 緊急一時預かりは、保育施設入園を申し込んでも入園できなかった場合に、保育が必要な期間、一時的に預かる事業。これは、保育園・こども園で実施している一時預かりと同様のものであり、待機児童対策として、空き教室や給食施設がある新居幼稚園で実施していた。令和2年度からは、内山保育園閉園までは同園で実施し、閉園後は、その時の待機児童や入所待ち児童の状況にもよるが、令和3年にこども園化する岡崎幼稚園を含め、保育園・こども園での一時預かりで対応していく予定である。

湖西市児童手当支給条例が廃止されました

これは、昭和47年から遺児、障害児に対して月額千円を支給する市単独の制度として施行、昭和51年からは月額2千円を支給。障害福祉・子育て支援サービスが拡大し続けるなかで、市単独で上乗せする本制度を廃止しようとするものであった。賛成多数により可決。

本会議での質疑

問 なぜ廃止しなければいけなかったのか。他の事業は検討したか。

答 国の手当額は創設当初から20倍以上に引き上げられており、昭和50年からは支給対象者が重度障害者に加え中度障害者に広げられていて、現在の支給額が1級・重度障害者が月額52,200円、2級・中度障害者が月額34,770円となっている。さらに、在宅重度障害者には「障害児福祉手当」が月額14,790円支給されているなど、手当が拡充されていくなかで、毎月市独自で2千円を上乗せする意義は小さくなっていると思う。毎年、全ての福祉事業の重要度、継続の必要性について検討しており、今後も安定的に持続させるためにこの制度の廃止はやむを得ないという結論に至った。

本会議での討論

●反対

- コスト削減にあたり、市の事業全体での検討や激変緩和措置などについての検討が不十分だと感じる。また、国の手当が上がるとタイミングで廃止するなどを考えるべきであった。
- この問題は、湖西市の障がい児(者)に対する姿勢が問われる重大な問題と考える。企業誘致も大切かもしれないが、障がい児(者)をはじめとする市民に目を向けるべきである。
- 年々厳しくなる財政状況は承知しているが、市の人口規模から、新たな法人誘致や、サービス提供体制の整備、質の向上などの多様なニーズに対応できないため、市単独事業であるこの制度の継続は必要と考える。

●賛成

- 国が支給する「特別児童扶養手当」に上乗せする二重の支給ともとれる手当であり、国の支給月額に対し市の手当では小さいものとする。精神障害者医療費の助成対象を拡大するなど、より必要な制度の充実も同時に行っていること、また、年々増え続ける障害福祉関係の扶助費は、令和2年度予算案では前年度比約7,200万円の増額が見込まれており、市の財政を圧迫する要因のひとつであることなどから、廃止はやむを得ないものとする。

総額402億6,249万円の令和2年度予算を可決

令和2年度各会計予算

(千円)

会計区分		令和2年度 予算額	平成31年度 予算額	対前年度比 ※▲は減額
一般会計		21,710,000	21,270,000	2.1%
特別会計	国民健康保険事業	5,633,800	5,686,000	▲0.9%
	介護保険事業	4,181,849	4,236,616	▲1.3%
	後期高齢者医療事業	713,784	672,840	6.1%
企業会計	公共下水道事業	2,542,564	2,267,043	12.2%
	水道事業	1,567,396	1,580,555	▲0.8%
	病院事業	3,913,105	3,815,731	2.6%
合 計		40,262,498	39,528,785	1.9%

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の予算審査を行い、そのうち一般会計、国民健康保険事業会計及び病院事業会計については賛成多数により可決し、その他会計を全員賛成により可決した。

なお、一般会計の予算審査については予算特別委員会を設置、付託し、2日間にわたり審査を行った。

【委員長】 神谷里枝	【副委員長】 馬場 衛
【委員】 柴田一雄	加藤治司 滝本幸夫
三上 元	福永桂子 菅沼 淳
土屋和幸	高柳達弥 楠 浩幸
佐原佳美	吉田建二 竹内祐子
荻野利明	中村博行 二橋益良

また、国民健康保険・後期高齢者医療事業会計予算については総務経済委員会に、介護保険・病院事業会計予算については福祉教育委員会に、公共下水道・水道事業会計予算については建設環境委員会に付託し、審査を行った。

予算特別委員会の審査

<歳入>

問 予算根拠の納税義務者はどのように算出しているのか。

答 個人市民税均等割の納税義務者数は、毎年行われている「課税状況調」の実績値を基に算出している。

<歳出>

問 地域交通会議MaaS事業の目的・内容は。

答 市内各企業のシャトルバスの運行路線をベースに周辺住民のニーズに応じて乗降できる仕組みを、市内複数企業とモネテクノロジーズ株式会社と連携し、令和2年夏以降に実証実験を行えるよう検討中である。

問 介護職員養成事業の補助内容は。

答 介護人材の確保・充実を図るため、介護職員初任者研修を終了し、市内の介護施設などに3か月以上就労することを条件に、初任者研修受講料及び教材費の半額もしくは、5万円のいずれか低い額を助成していく予定である。

問 鳥獣被害対策を行う農家への指導と効果は。

答 県鳥獣被害対策総合アドバイザー資格を取得した市職員が、補助申請者に対して効果的な自衛手段や、補助金を活用した様々な免許新規取得の案内をしている。また、平成29年4月から免許なしでも小型箱わなで小動物を捕獲可能となったことのご案内も行っている。加えて、市野生鳥獣等管理協会に協力いただき、有害鳥獣捕獲を推進している。農業被害額は平成27年度約440万円が、平成30年度約390万円と、約50万円の減少効果が表れている。

問 公園施設維持管理業務の中で自治会に委託する公園数と委託料の基準は。

答 令和2年度に委託予定の公園は48公園、このうち自治会関係団体へは46公園を委託予定。委託料は、植栽など業者が管理する部分や自然林などを除いた平場の面積を基準として、日頃の清掃・除草や施設の異常の通報の費用、トイレの便器の数などにより算出している。

問 若年がん患者への補助制度の内容と、広報の手段は。

答 助成内容は下表のとおり。今後、市ウェブサイト、広報紙などで周知していく予定である。

	治療の内容	助成上限金額
にんようせい 妊孕性温存 治療支援	精子の採取・凍結	20,000円
	卵子、卵巣組織 などの採取・凍結	400,000円
医療用補整具 購入費支援	医療用ウィッグ・ 補整下着	20,000円
	人工乳房	100,000円
小児・若年がん 患者在宅療養費 支援※	居宅サービス	月額50,000円
	福祉用具貸与	月額30,000円
	福祉用具購入費	50,000円

※サービス利用料又は助成対象額(上限)の1割に相当する額は、自己負担。

問 太平洋岸自転車道整備事業の概要説明を。

答 外国人観光客の増加が見込まれる東京オリンピック・パラリンピックまでに、千葉県銚子市から和歌山県の紀伊半島までの海岸線約1,400kmの自転車道の整備構想で、統一感のある路面表示や案内看板の設置など、利用者が迷わず、安全に走行できる環境整備をするもので、事業主体は道路管理者となる。

問 高師山地区津波避難タワー、上田町地区命山整備の進捗は。

答 津波避難タワーは、令和元年度に実施設計を完了、令和2年度から工事に着手し、令和3年10月末までの完成を予定している。命山は、平成28年度から県が施工を開始しており、市は令和2年度に上部の避難面整備を行い、令和3年3月完成の予定である。

問 学校給食施設整備基本計画策定業務について、令和2年度の作業は。

答 子ども達に安全・安心な給食を安定的に提供していけるよう、今後の基本的な方向性を示す「学校給食施設整備基本計画」を作成する。具体的には、整備方法の比較検討や、将来人口に見合った給食施設の規模、機能、整備場所、スケジュール、建設費や運営費などの概算事業費などについて、コンサルタント業者に委託する。

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号	議案名	結果	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上元	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	高柳達弥	楠浩幸	佐原佳美	吉田建二	加藤弘己	竹内祐子	荻野利明	馬場衛	中村博行	神谷里枝	二橋益良	
2	湖西市児童手当支給条例を廃止する条例制定について	可決	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○	●	○	
22	令和2年度湖西市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○	○	○	
23	令和2年度湖西市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○	○	○	
28	令和2年度湖西市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(加藤弘己)は採決に加わらない。

そこが聞きたい!!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。
今3月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会公式サイト

ウェブサイトでは本会議の映像を見ることができます。

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから (YouTubeへ)



医師と看護師確保の実績は

01

●病院経営について



神谷 里枝 議員

問 医師と看護師確保に向けた活動実績は。

答 例年、浜松医科大学を訪問し、医師の派遣を要請している。医師の派遣は容易ではないが、令和元年10月に外科医を副院長として増員することができた。看護師確保については、年間を通して、看護学校や求人センターなどへの訪問、看護学校での就職説明会へ参加し、看護学生への修学資金の貸与制度のPRなどを行っている。

問 改革プラン最終年度を迎えるにあたり、医業収益を増やす対策など、今後の方針は。

答 医業収益を増やす取り組みは、地域包括ケア病床、白内障手術、施設基準の見直し及び地域連携の推進による収益改善に努めてきた。今後も、引き続き施設基準の見直しや地域包括ケア病床の病棟化、近隣の医療機関との連携強化を進め、必要とされる医療の充実と入院収益の増に取り組んでいく。

その他の質問 避難所における教育委員会と地域との連携について、施政方針について

運動公園の使用料変更による利用・経営状況の変化は

●湖西運動公園の中・長期的な修繕・改修計画と収益確保について

問 令和元年10月からの使用料の変更による利用状況と収益状況の変化は。

答 令和元年10月から12月までの利用者数を前年度と比較すると、平成30年度11,536人に対し、令和元年度は11,195人と、対前年度比2.95%、341人の減であった。一方、収益は、同様の比較で平成30年度61万2千円に対し、令和元年度は84万6千円と、対前年度比38.4%、23万5千円の増であった。

問 収益確保の観点からネーミングライツや、広告看板の設置を行うことで、中・長期的な修繕・改修の費用に充てては。

答 ネーミングライツ及び広告看板については、利用者、民間事業者、行政の間で、それぞれメリットのある制度であると認識しており、今後は、先進地事例の調査・研究や指定管理者などと協議を行い、体制整備も含め導入に向けて前向きに進めたいと考えている。



柴田 一雄 議員

次期湖西市観光基本計画はどのようなメンバーで策定を考えているか

●湖西市観光振興事業について

問 次期湖西市観光基本計画について、どのようなメンバーで策定を考えているのか。

答 計画の策定については、湖西市・新居町両商工会、両観光協会、市内観光事業者などで構成された湖西市観光振興協議会や有識者と進めていく。

新居弁天地域をはじめ市内の既存観光地や施設の有効的な活用計画などすべてが一過性とならず、地域の活性化につながる計画を目指し、年内までに案をまとめ、令和2年度内に完成したいと考えている。

問 湖西市の観光振興事業をどのように展開しようと考えているのか。

答 今後、DMOの浜松・浜名湖ツーリズムビューローや県、その他各種団体との連携を強化するとともに、民間事業者や市民の声を市の観光施策に取り込み、観光事業の主体として活躍していただける組織の構築を目指したい。



楠 浩幸 議員

影山市長の1期目の成果と課題は

04



二橋 益良 議員

●影山市長の2期目出馬について

問 影山市長の1期目の成果と課題は。

答 就任から3年経ち公約を見直したところ、取り組んだものもあれば、時間がかかる、現実的な壁に直面しているものもあると感じている。

具体的には、子ども医療費の無償化、公共交通の改善やデマンド型への移行、タクシー券の利用拡大などはすぐに取り組めたと思っている。課題は、時間がかかる土地政策で、土地利用の在り方を見直さなければ湖

西市の発展は望めないと感じており、中長期的な課題で、これからも引き続き取り組まなければならないと思う。

問 今後の行政運営に対しての考えは。

答 今まで行ってきたことを変えるのではなく、引き続き、土地政策、臭気対策や、市民会館など、湖西市が持続可能な発展を続けるような施策を今までどおり続けることが今後の展開であると感じている。

その他の質問 施政方針について

移動支援事業の協力者はどういった人たちを想定しているか

●南上の原における高齢者移動支援事業について

問 移動支援事業の協力者はどういった人たちを想定しているか。

答 住民ボランティアを想定しており、現在、地区内の5名のボランティアに協力いただいている。また、この5名は、安全・安心に移動支援ができるように令和元年10月に市が開催した運転ボランティア養成講座を受講している。

問 県のモデル事業として南上の原地区が選定された経緯を伺う。

答 南上の原地区は、市街地であり、比較的交通の便は悪くないが、住民ボランティアによる移動サービスなどの活動が積極的に行われている地域であることが高く評価され選定された。



土屋 和幸 議員

白血病ドナー助成制度の導入予定は

●ドナーに対する支援の充実について

問 居住地に選ばれる街を目指す湖西市として、助成制度の導入を検討する考えは。

答 職住近接や定住促進に資すること、効果としてつながるものは積極的にやっていきたいと思っている。まずは、周知・啓発が重要と考えているが、県に要望したり、他市町では徐々に増えてきているというデータもあるようなので、動向を見ながら検討していきたい。

問 ドナー登録、助成制度に関する問い合わせはこれまでどの程度あったか。

答 助成制度に関する問い合わせについては、今までに相談を受けたという記録はない。

令和元年度、ご家族がドナー登録をされたということで、相談が1件あった。また、湖西市のドナー登録者数は143名である。



加藤 治司 議員

交通弱者に優しい公共交通の目指すべき姿は

●地域公共交通の現状と未来につなげる施策について

問 次世代に向け、交通弱者に優しい公共交通のあり方をどのように考えていくのか。

答 コーちゃんバス利用者の声を反映させたり、地域の住民や企業、商店との連携を進め、利便性を向上させていきたい。コーちゃんバスの利用改善、デマンド型乗合タクシーの市内全域への拡大、ICTを活用した交通事業の実証実験などを実現させ、高齢者が免許返納後に移動に困らない社会を作っていく。

問 デマンド型乗合タクシーの利用者拡大に向け、考えていることは。

答 利用者拡大に向け、1人で乗車すると700円のところを、2人・3人と乗り合いをする人数が多いほど利用料金を割り引くサービスを検討している。市民が声を掛け合い目的地に移動することを促し、効率の良い公共交通サービスになることを目指していきたい。



滝本 幸夫 議員

インクルーシブ教育に伴うエレベーター設置の考えは

●学校(小・中)教育における「障がい者」に対する合理的配慮について

問 今後も予測されるインクルーシブ教育に伴うエレベーター設置についてどのように考えるか。

答 今後のインクルーシブ教育への環境整備として、施設のバリアフリー化を進めていく必要がある。校舎の新設工事や大規模改修工事にあわせ、バリアフリー化とともにエレベーターの設置を進めるなどの対応をしていきたい。

問 学校教育において「障がい者」に対するどのような配慮をされているのか。

答 学校では、教育や福祉、医療が連携して一貫した支援が行えるよう個別の教育支援計画を作成したり、教員の中から特別支援教育コーディネーターを指名し、各機関との連絡調整、保護者の相談などを担当している。市としては、支援が必要な場合には、特別支援教育支援員を増員して対応している。施設の整備については、学校と保護者、市が話し合い、対応している。

インクルーシブ教育

障がいの有無などによって学ぶ場や環境を分けられることなく、一人ひとりの能力や苦手さと向き合いながら共に学ぶ教育



菅沼 淳 議員

急激に保険税が上昇する家庭への対策は

●国保税の税率改正について

問 急激に保険税が上昇する家庭への対策はどう考えているか。

答 資産割の廃止により不足する保険税額は所得割額で賄うことになるため、資産割が賦課されていない被保険者は、保険税額が増えることになる。所得割の段階的な税率改正など、保険税額の急激な上昇や低所得者への負担が増えないよう配慮したい。

●清源坂交差点の交通安全について

問 交差点の安全対策は現状のままで良いと考えているか。ガードレールを設置して、子どもたちの命を守るべきではないか。

答 信号のある交差点であり、安全対策がされていると認識している。道路管理者、警察などの関係者による合同点検により、ガードレールなどの必要性を確認し、実施していく。



荻野 利明 議員

市制50年は節目となる大きな行事であるが、現時点での考えは

10

●市制50年祭を盛大に行いたい

問 市制50年は節目となる大きな行事であり、リーダーには若手職員を抜擢すべきと考えるが、現時点での考えは。

答 市制施行50周年という大きな節目を迎えるにあたり、記念式典、記念イベントなどの検討を始めている。若手職員を中心としたプロジェクトチームを令和2年度早々にも立ち上げ、市の魅力を広くPRできるアイデアを若い感性で考え、学生などをはじめ広く市民の声を取り入れていきたい。

●インクルーシブ教育に積極的になって欲しい

問 児童を障がいの有無に限らず同じ場所で教育することや設備を積極的に改善する気持ちはあるのか。

答 湖西市教育振興基本計画では、「一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育環境の整備に努めること」を方針の一つに掲げており、障がいのあるお子さんとなしのお子さんが同じ場で学ぶことの実現についても前向きに考えている。インクルーシブ教育とは支援が必要なお子さんの教育的ニーズに応える指導が提供できることと捉え、一人ひとりの障がいの状況を把握し、何が必要なのかを見極めて対応していきたい。



三上 元 議員

LGBTへの対応の必要性をどう捉えているか

●LGBTへの対応について

問 LGBTへの対応の必要性をどう捉えているか。

答 第3次湖西市男女共同参画推進計画において、「誰もが認め合うまち」「誰もが対等に参加できるまち」「誰もが自分らしく安心して生活できるまち」として、目指すべき方向性が示されている。性的少数者への理解を深め、性の多様性を尊重することは、お互いを認め合う地域づくりに寄与することから、その必要性を認識している。

●新型コロナウイルス等対策について

問 市民などへの周知や注意喚起はどのように行っているか。

答 ウェブサイトやSNS、市役所だよりなどによる周知、注意喚起を行っている。また、国が作成したチラシを配布したり、外国籍の方へは外国語版のチラシを通訳窓口を設置し対応している。

新しい情報については、できるだけ迅速に市民へ周知するよう努めている。



福永 桂子 議員

市長の描く湖西の将来像は

●湖西市の将来人口の減少に対する取り組みについて

問 市長の描く湖西の将来像は。どんなまちにしたいか。

答 人口減少・少子高齢化などの厳しい現実を直視し、持続可能な発展をしていくため、市の人口約6万人に対して昼の人口約7万人の差の解消を目指し、住んで働いてもらう「職住近接」が最も重要と考える。そのために、市民の安全・安心施策を根幹に、子育て・教育支援の充実、産業の振興、観光シティプロモーションを展開し、何十年後も住み続けたいと思われるまちづくりをしていきたい。

問 立地適正化計画において、居住誘導区域の設定にあたり防災面や市街化調整区域との連携体制などの課題の検討が必要では。

答 令和2年度予定の居住誘導区域の設定では、基本的に災害危険区域は、誘導区域から外す検討を行い、土砂災害警戒区域等は、警戒区域が外せるよう適切な土地利用を進めていく。また、市街化調整区域は、拠点となるJR駅との交通アクセスなどの検討をしていく。



高柳 達弥 議員

市民に分かりやすい行政に向けて機構改革を検討しては

●行財政改革の推進に向けて

問 仕事を効率的に進め、市民に分かりやすい行政へと、機構改革を検討し、行財政改革審議会に諮問しては。

答 組織の見直しについて、審議会等に諮問する予定は現時点ではないが、市民目線で組織としての課題を洗い出し、市民の利便性の向上に繋がるワンストップサービスの提供など、組織の見直しに活かしていきたい。

問 補助金制度の見直しをするときの基本指針は。また、外部機関の意見を求めることは。

答 平成26年度に指針として、「補助金等の見直しガイドライン」を策定している。これは、評価を客観的に行うための基準を定め、担当部署が補助金・交付金の自己評価をする際に役立つものである。明記はしていないが、必要に応じて行政改革審議会などからの意見をいただくことも考えている。



吉田 建二 議員

県・国とも連携し、漁業を振興させていくことが必要では

●浜名湖の漁業振興施策と観光について

問 県・国とも連携し、今後漁業を振興させていくことが必要と考えるがどうか。

答 昭和53年から浜名漁協、静岡県及び浜松市等の漁業関係者と浜名湖地区水産振興協議会を組織し、浜名湖全体の水産資源の保護などを目的に連携している。今後も水産資源の減少要因を解決するため、関係機関と連携を密にすることが重要と考える。

問 湖西市観光協会と新居町観光協会の一元化について伺う。

答 今後、市内の観光事業を発展させ、市内経済の活性化を図るため、市は、独立した協会の立ち上げのために支援を継続し、2～3年以内という目標を持って湖西・新居町観光協会の統合・独立を目指していきたい。



馬場 衛 議員

その他の質問 市の所有する未利用地の有効利用(活用)について

繰出金の使用内容を公開したらどうか

●湖西病院の情報の見える化を進める

問 繰出金の使用内容を公開したらどうか。

答 一般会計からの繰出金は、救急医療の実施や病院事業で借り入れた企業債の償還など国の繰出基準に基づき算出した金額と現在の医療サービスを継続して運営していくために必要な基準外のコストとに区分される。内容は、既に公開しており、決算付属書類の繰入金内訳書のとおりである。

問 診療科別の収支は。

答 科別の収入については明確にわかるが、費用は携わるスタッフなどの間接費を按分しないとならず、国や県レベルで明確にどのように按分するかの基準があれば、数字を出すことはできる。分かっている情報などは正確に公表すべきだと考えている。



中村 博行 議員

指定福祉避難所との連絡会で出された課題や今後の連携方法などは

16

●命を守る防災・減災対策の推進について

問 指定福祉避難所施設との連絡会で出された課題は。

答 令和元年10月に市内6カ所の福祉避難所施設職員と意見交換会を実施。意見として、「自施設利用者以外の専門的知識を持つ職員がいないので不安である。災害時に受入者用の備蓄がほとんどなく、市で対応可能か。ボランティアなどの活用には、福祉についてある程度の知識がある人を希望する。日頃から地域住民にも福祉避難所の役割の周知をしておいて欲しい。」などが出された。連携・情報共有が重要であるため、今後も連絡会を行いたい。

い。」などが出された。連携・情報共有が重要であるため、今後も連絡会を行いたい。

問 「指定避難所運営マニュアル」の作成状況は。

答 現在、15の避難所で避難所運営連絡会を実施し、地域のニーズや課題に合ったマニュアルの作成、検討をいただいている。そのうち、9カ所は策定済みで、令和2年度の早い時期に3カ所で完成する予定と聞いている。



佐原 佳美 議員

視察の成果を市政に生かします

子どもの未来創造応援特別委員会

1月22日

●視察先：藤枝市 ●目的：藤枝型発達支援システムの取り組みについて

藤枝市では、途切れのない発達支援をめざし、「藤枝型発達支援システム構築のための行動計画」を策定。発達に課題がある児童が、乳幼児期から就労期までの保健・福祉・教育の公的機関及び医療や就労などの専門機関の協力を仰ぐ「横の連携」による支援の提供と、年齢に応じた個別支援情報を継続的に次のライフステージにつなげていく「縦の連携」の仕組みが構築されている。



▲藤枝市子ども発達支援センターにて

現地視察した子ども発達支援センターには心理判定員などの専門職員が配置され、専門的な支援が実現されている。ケース記録の共有による相談者の負担を軽減する仕組みや、保護者の声を反映した事業展開など、参考にしたい。

1月27～28日に実施した総務経済委員会行政視察は、次号に掲載予定です。

こんな街に住んでみたい

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、若者がまちづくりを考えるきっかけづくりとするため、今年も新居・湖西両高校生との意見交換会を開催しました。

意見交換会の司会進行は生徒さんに担当していただきました。

意見交換会テーマ及び高校生から出た意見

※抜粋

新居高校 令和元年11月29日・令和2年1月24日



安全な街になること

- 浜松市に比べると暗い道が多く登下校の際すごく気になる。

優しい街になること

- 子ども・子育て世代に優しいまちが第一だと考える。遊具が多い公園や保育園を増やす。図書館で読み聞かせができるなどが良いと考えた。

生活が充実した街になること

- 交通の便が圧倒的に少ない。コーちゃんバスのバス停が遠くてお年寄りが利用できない。企業のバスが導入されるなら高齢者が助かるバス停を作って欲しい。

楽しい街、にぎやかな街になること

- イベントが少なく、あらいじゃんなどの規模が小さい。大きなイベントをやって欲しい。伝統ある祭に、現代風のモノを加えて集客力のある祭を作って欲しい。



湖西高校 令和2年1月8日



教育、学び、スポーツに関して湖西市に要望すること

- 湖西高校で湖西市のイベントを実施してもらいたい。今回の様な話し合いや、企業や、行政の職員さんと関わり、いろんな経験を積みたい。
- 外国人に優しいまちづくりをしたら良いと思う。高校の中でも外国の生徒も多いので、標記などをわかりやすくすると良いと思う。

人口減少傾向の湖西市はどうしたら魅力的な市になるのか

- 鷺津駅北側の湖岸に沿った通学路に防犯灯の整備と歩行者だけでなく自転車も通行できるようにして欲しい。
- 湖西市(鷺津地区)には、子どもを遊ばせたり、子育てにふさわしい遊園地が少ない。



※意見交換会の様子は、市ウェブサイトに掲載しています。

NEW

あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後
どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.183 掲載 (平成 30 年 7 月 31 日付発行)

● 女性の視点を生かした命を守る防災対策 の推進について

問

女性の視点を生かした防災ガイドブック
を新たに湖西市版として作成する意向は。

答

冊子という形ですぐに作成はできないが、
女性視点で注意点をまとめ、経費をかけない
形で公表できるものを作成したい。

追跡してみると…

平成31年3月、「大地震に備えるガイドブック
～女性の視点を生かして～」を作成し、ウェブサ
イトで公表しました。「自助力UP大作戦!みんなの
減災」では、このガイドブックが活用されました。



▲ガイドブックを活用した講座

市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」を スマホでも!



「マチイロ」を使えば、「ぎかいのひろば」をスマートフォン
で読むことができます。(※別途通信料が掛かります。)

利用方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を
「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

◎加藤 弘己 ○吉田 建二 柴田 一雄 加藤 治司
滝本 幸夫 福永 桂子 竹内 祐子 荻野 利明

6 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2 10:00~ 本会議第1日	3	4	5	6
7	8	9	10 10:00~ 本会議第2日 (一般質問)	11 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	12 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	13
14	15	16 10:00~ 本会議第5日	17 10:00~ 総務経済 委員会	18 10:00~ 福祉教育 委員会	19 10:00~ 建設環境 委員会	20
21	22	23 10:00~ 本会議第6日	24	25	26	27
28	29	30	7/1	2	3	4

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

次回は **7月31日** 発行予定です

湖西市議会HPも
ご覧ください

ぎかいのひろば

No.191

令和2年5月15日発行

発行/湖西市議会 議会だより編集委員会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791 / FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/>

